

科目ナンバー： 研究・CNS：MB1053／助産：MmB1053

授業コード： 6620000600

講義科目名称： 健康社会学

英文科目名称： Sociology of Health and Illness

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1・2学年	1単位	選択
担当教員			
◎徐淑子			
添付ファイル			

授業種類	【開講】 後期	【授業時間】 15時間		
	【担当教員】			
	【氏名】 ◎徐 淑子 (そう すっちゃ)	【所属】 新潟県立看護大学	【研究室】 3 1 6	【メールアドレス】 suhs@niigata-cn.ac.jp
	【本学の科目区分】 共通基盤分野			
	研究	◎	◎	
	CNS	◎		
	助産			
		【DP1】	【DP2】	【DP3】
			◎	
				【DP4】
				【DP5】

到達目標	1. 社会学的な考え方を健康現象についての研究に応用するための基礎知識を得る。 2. 科学的方法の限界を踏まえた上で、先行研究や自身の研究計画を、科学の体系の中に位置づけることができるようになる。
------	---

授業概要	研究論文や看護の専門書などでよく遭遇することばのおおもと（初出文献）はどこのだろうと思ったことはありませんか？ 看護研究では、社会学に由来する研究方法や概念枠組みが多数取り入れられ援用されています。この科目では、看護学を専門とする院生のみなさんにもなじみの深い概念のうち、社会学とその隣接分野での研究に端を発するものを、いくつかとりあげ学びます。前半では、社会学の分野から看護分野にも広く応用されている中範囲理論の考えを学びます。後半では、文献を一つ取り上げて講読します（初回に、取り上げる文献を話し合っ決めて）。2026年度は研究方法論にかかわるわかりやすい文献を取り上げたいと考えております。教員から、候補の文献を初回に何点か提案しますが、受講生からのリクエストや希望も歓迎いたします。
------	---

授業計画	1 保健医療福祉の中の社会科学 授業形態：講義・演習 学修課題：実践科学とは、学の三要素。 学修内容：看護科学の基礎と研究史について社会科学との連関から学ぶ。 事前学修：Classroomにアップされている資料に目を通す。 事後学修：授業内課題を仕上げる。参考資料に目を通す。 備考：徐
	2 中範囲理論とその活用① 授業形態：講義・演習 学修課題：中範囲理論とは 学修内容：グランドセオリーへの期待と批判、中範囲理論の提唱、これらが同時代の看護理論家にどのように影響したか。 事前学修：Classroomにアップされている資料に目を通す。 事後学修：授業内課題を仕上げる。参考資料に目を通す。 備考：徐
	3 中範囲理論とその活用② 授業形態：講義・演習 学修課題：中範囲理論の「実用化」 学修内容：看護研究に中範囲理論がどのように活用されているか。 事前学修：Classroomにアップされている資料に目を通す。 事後学修：授業内課題を仕上げる。参考資料に目を通す。 備考：徐
	4 さまざまな社会調査法、科学的根拠と看護研究① 授業形態：講義・演習 学修課題：（今年度の指定図書・論文に基づく） 学修内容：（今年度の指定図書・論文に基づく） 事前学修：Classroomにアップされている資料に目を通す。発表の準備をする 事後学修：授業内課題を仕上げる。参考資料に目を通す。発表の準備をする 備考：徐
	5 さまざまな社会調査法、科学的根拠と看護研究② 授業形態：講義・演習 学修課題：（今年度の指定図書・論文に基づく）

	<p>学修内容：（今年度の指定図書・論文に基づく） 事前学修：Classroomにアップされている資料に目を通す。発表の準備をする 事後学修：授業内課題を仕上げる。参考資料に目を通す。発表の準備をする 備考：徐</p> <p>6 さまざまな社会調査法、科学的根拠と看護研究③ 授業形態：講義・演習 学修課題：（今年度の指定図書・論文に基づく） 学修内容：（今年度の指定図書・論文に基づく） 事前学修：Classroomにアップされている資料に目を通す。発表の準備をする 事後学修：授業内課題を仕上げる。参考資料に目を通す。発表の準備をする 備考：徐</p> <p>7 さまざまな社会調査法、科学的根拠と看護研究④ 授業形態：講義・演習 学修課題：（今年度の指定図書・論文に基づく） 学修内容：（今年度の指定図書・論文に基づく） 事前学修：Classroomにアップされている資料に目を通す。発表の準備をする 事後学修：授業内課題を仕上げる。参考資料に目を通す。発表の準備をする 備考：徐</p> <p>8 まとめと補足 授業形態：講義・演習 学修課題：（今年度の指定図書・論文に基づく） 学修内容：（今年度の指定図書・論文に基づく） 事前学修：Classroomにアップされている資料に目を通す。発表の準備をする 事後学修：期末課題を仕上げる。 備考：徐</p>
事前・事後学習	配布資料等を読む／再読する。関連事項等について調べる。 授業内で提示された課題に取り組み、翌週の発表や討議に備える。
評価方法、評価基準	到達目標1, 2に対して、発表（30%）、課題（30%）および討論への参加状況（40%）で評価する。
テキスト	必携図書は、とくに定めません。授業中に書籍・論文を紹介しますので、希望者はご自分で購入手配なさってください。
参考図書・資料等	必要な資料は、教員がその都度配布・紹介いたします。
受講、課題、資料配布等のルール	当科目は、対面授業と遠隔授業（リアルタイムオンライン・オンデマンド）を併用いたします。 受講生の数が少ない場合は、初回の講義日以降、開講日を受講生との話し合いによって決めます。
教員からのメッセージ	看護実践が多職種協働をとおして保健医療の現実問題に取り組むように、看護学も隣接する諸科学との協働をとおして、保健医療研究を前進させてきたといえます。看護学にしっかりと軸足を置きつつ、社会科学的な研究の成果を看護・医療の領域に応用していけるよう、学びを深めていきたいと考えます。
オフィスアワー	火・水・木 12:00-13:00。それ以外の日時を希望する場合はメール等でお知らせください。